参考文献リストを作る

1. 引用文献と参考文献

引用文献とは、論文中に引用している文献を指します。また、参考文献はその論文を作成するために参考とした文献のことです。この中には、参考にしたが本文中に引用しなかった文献も含みます。そして、論文の最後や欄外に「参考文献リスト」として、必ず明記しなければなりません。

また、文献に記載されている参考文献リストを手がかりとして、関連文献を見つけていくのも有効な文献探索法の一つです。

2. 参考文献の書き方

参考文献を記述するには、資料形態により必須の資料情報の項目とルールがあり、記述の細かいルールは学問分野によって異なります。必ず、事前に提出先に確認しましょう。また、「レポート・論文作成の参考になる本」(p. 18) なども参考にしてください。

下記では、よく使われる記述例を説明します。また、例(1)～(4) の各項目で記載する事項を「書誌」「書誌情報」といいます。資料情報は資料を説明する項目で、**「書誌」**あるいは**「書誌情報」**といいます。

例(1) 図書の場合

①著者（編者、団体名）②出版年 ③書名 ④版表示 ⑤出版社 ⑥総ページ数 ⑦シリーズ名

小笠原喜康① (2018)② 『大学生のためのレポート・論文術』③ 最新版④ 講談社⑤ 234p⑥ (講談社現代新書 2498) ⑦

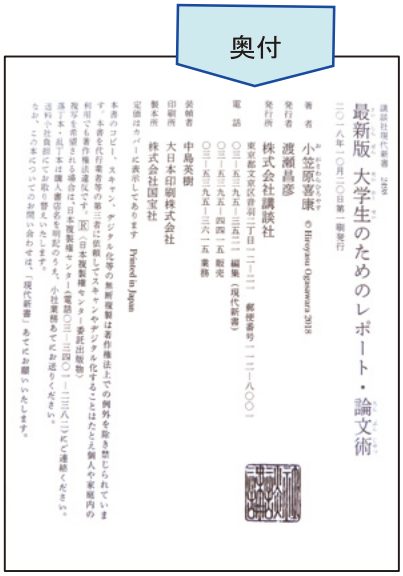
Bloom, Harold① (2009)② *J. D. Salinger's The Catcher in the Rye*③ new edition④ Bloom's Literary Criticism⑤ 215p⑥ Modern Critical Interpretations⑦

〈和書-日本語で書かれた本〉

和書の書名は『 』に入れます。

巻末の「奥付」(p. 2参照) にある情報を参考にしてください。

奥付



〈洋書-外国語で書かれた本〉

洋書の書名は*イタリック体*、著者名は外国人名も姓・名の順で記述します。

洋書は和書と違い、本の冒頭部分(通常、中表紙の次のページ)に書誌情報が掲載されています。

Editorial Consultant, John Unrue

Bloom's Modern Critical Interpretations:
J. D. Salinger's *The Catcher in the Rye*—New Edition
Copyright ©2009 by Infobase Publishing

Introduction ©2009 by Harold Bloom

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced or utilized in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying, recording, or by any information storage or retrieval systems, without permission in writing from the publisher. For more information contact:

Bloom's Literary Criticism
An imprint of Infobase Publishing
132 West 31st Street
New York NY 10001

例(2) 雑誌論文・記事の場合

①執筆者名　②発行年月日　③論文・記事名　④掲載雑誌名　⑤巻号　⑥掲載ページ

溝口敏行① (1975)② 「論文の書き方」③ 『経済セミナー』④ (251)⑤ 108-112⑥

Wood, R.① (1995)② "Marriage Rates and Marriageable Men : A Test of the Wilson Hypothesis"③ *The Journal of Human Resources*④ 30(1)⑤ 163-193⑥

「執筆者名」「論文・記事名」は、タイトルページを参考にし、論文掲載部分から始まりと終わりのページを記述します。掲載雑誌名や巻号は、その雑誌の表紙や裏表紙、奥付から探して記述してください。

執筆者名は、姓・名の順で表示します。

外国人の場合は、姓のあとに「,」を付け、スペースを半角１文字あけて、名を記述します。

外国語の論文は、掲載雑誌がイタリック体で表示される場合が多く、雑誌名を略称で記述することもあります。

略称の例

Journal of Applied Psychology の場合

→ Jou. Appl. Psych.

→ J. Appl. Psych.

→ J. Appl. Psychol.

例(3) 新聞記事の場合

①著者名　②記事タイトル　③新聞名　④発行年月日　⑤朝夕刊　⑥ページ(面)

石田貴子① きのこ会から学んだ使命　女優・斉藤とも子さん、広島修道大で講演/広島県② 朝日新聞③ 2009年5月23日④ 朝刊⑤ 31ページ(広島1)⑥

新聞記事は、記事の最も大きな見出しを「記事タイトル」とし、小見出しを副タイトルとします。署名記事であれば、先頭に「著者名」を記述します。また、地域名、地方名等があれば、そちらも記述します。

例(4) インターネット資料の場合

①著者名（サイト運営者名）　②発表年月日　③ページタイトル　④URL（アドレス）　⑤閲覧年月日

内閣官房内閣広報室① 2015年8月14日② 平成27年8月14日内閣総理大臣談話③ http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/discource/20150814danwa.html④ (2016年1月20日閲覧)⑤

インターネットの情報には信用できないものもあるため、サイト運営者の信頼性が高いと判断できる(例：政府機関)場合のみ使用します。

URLとともに閲覧年月日を記述することで、閲覧した年月日にはその情報が公開されていたことを示します。